



第二五六回北斗句会(令和六年九月四日)

五十音順 特選 石田きよし選

何をすゝる家とも見えぬ藪からし 大崎石州

特 長き夜や推敲重ね一句詠む 太田黒幸風

秋冷や時に感ずる認知症 大森康正

秋立つやガザの空にも平和をと 川崎きこう

八百正に声掛けられて秋茄子 竹内雲泉

残照を身体にとどめ秋に入る 田中資凡

特 身のこなし鬼ごっこめく赤とんぼ 長池豆陽

特 雲梯の次の手の出ぬ夏の果て 藤田紀潮



あほでよし阿呆がよろし盆踊 石田きよし

